（5）阿蘇検定オリエンテーリング

1　活動の目的、効果

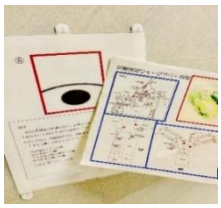
（1）体験活動上の効果

◎阿蘇の自然に親しむ　集団行動規律　課題克服達成感　阿蘇の文化に親しむ　・仲間づくり協調性

（2）ESD の課題解決に必要な７つの能力・態度

⑤　**他者と協力する態度**　　他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・共同してものごとを進めようとする態度

2　活動の詳細

概要 （セールスポイント）	マップを目印に目標に館内や屋外へ行き、お絵かき問題と検定問題に答えます。検定問題はすべて阿蘇に関する問題です。 問題の答えは館内の掲示物、パンフレットの中に隠されていますので、参加者が自然と施設の掲示物を見たり、施設の物に触れたりし、施設を細かく知ることもできます。また、問題の解説もあるため、プログラムの終わりに知識型のまとめのような形で締めくくることもできます。					
諸条件	実施形態	自主活動		提出書類	不要	
	必要経費	なし		所要時間	1.5 時間程度	
	活動場所	交流の家館内（屋外）		対象・人数	学校、自然体験活動団体、などの団体すべて　100 人程度	
	事前下見	不要	実施時期	通年	天候	天候に関わらず実施可能 ※（雨天時用は屋内のみ）
準備するもの	**青少年交流の家で貸し出し可能な物**			**団体で準備する物**		
	バインダー			【晴天時】 帽子　水筒（水分は通常１㍑／夏季２㍑）　時計 タオル　リュックサック　ビニール袋　筆記用具 阿蘇検定 OL マップ 【雨天時】　筆記用具　阿蘇検定 OL マップ 【指導者】　救急用品		
役割分担	**交流の家職員が行うこと**			**団体引率者が行うこと**		
	①物品の貸出、 ②団体引率者への説明（30 分前までに） （活動の意義の確認、ルール、安全面） ⑧貸出物品の受けとり			①物品の受け取り ②事前説明を受ける（30 分前までに） ③活動の意義、ルール、安全面の指導 ④グループごとの出発 ⑤帰着グループ人員確認 ⑥得点の集計と採点 ⑦活動のまとめ ⑧借用物の返却		

3　活動のふりかえりのポイント

視点　：「集団の一員として、仲間と協力することができたか」

発問例：「人を思った行動がとれたところはどこですか」

4　SDGｓで目指す姿

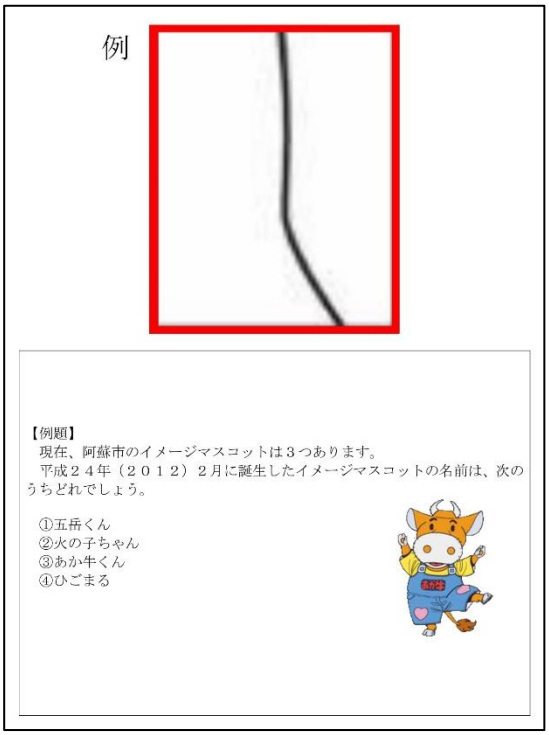
	15.4　2030　年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。 豊かな自然環境について考えることで、それらを守り維持していこうとする態度を育てる姿。

5　その他（団体の引率者の皆様へ）

(1)　単独で行動せず、必ずグループでそろって行動するよう指導してください。
(2)　民家の敷地内に入ったり、作物や施設を傷つけたりしないよう指導してください。
(3)　危険と思われる場所へ近づかないよう指導してください。
(4)　周りにある草花を採ったり傷つけたりしないよう指導してください。
(5)　熱中症予防やスズメバチ対策のため、必ず帽子をかぶるよう指導してください。
(6)　牧野のゲートや有刺鉄線を乗り越えて進まないよう指導してください。

阿蘇検定オリエンテーリングの手引き

地図の★の場所に行って、以下のような問題に答える。



※問題は【お絵かき問題】と【阿蘇検定問題】があります。

※【お絵かき問題】は札の□に描いてある絵をつなぐと１つの絵になります。

※【阿蘇検定問題】は札に書いてある問題に番号で答えてください。

【注意事項】

●必ずグループ全員で行動しましょう。

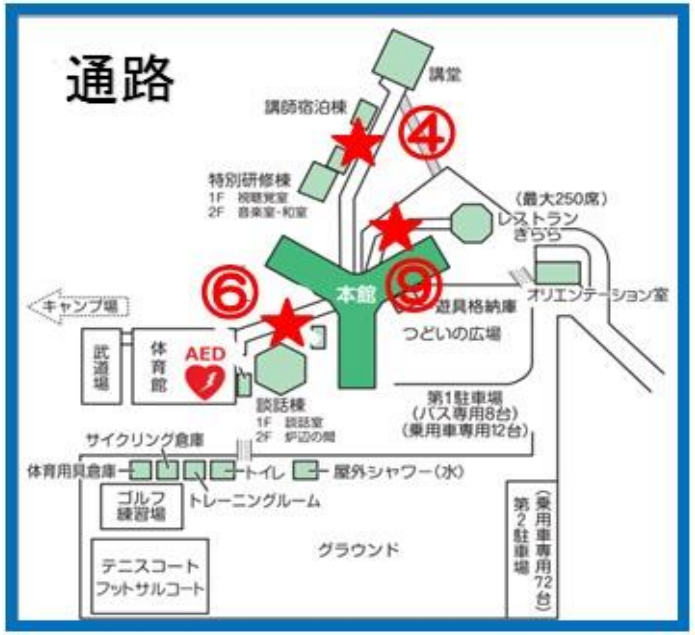
●グループ全員で問題の解答に取り組みましょう。

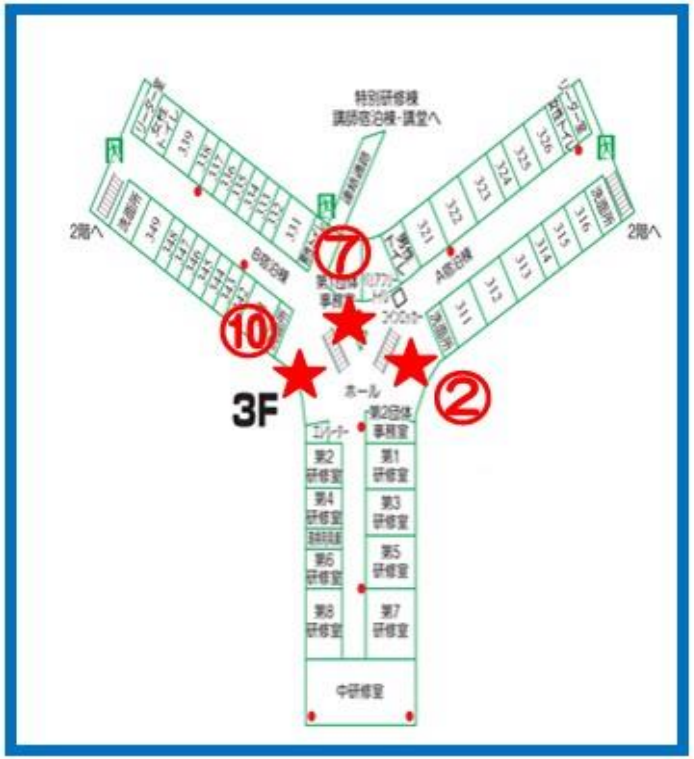
●【お絵かき問題】は答えがわかっても絵を完成させましょう。

●宿泊室や研修室、レストラン、体育館などの中には入らないようにしましょう。　※レストランへの通路までは入っても大丈夫です。

●移動中は走らないようにしましょう。

阿蘇検定オリエンテーリング地図（指導者）

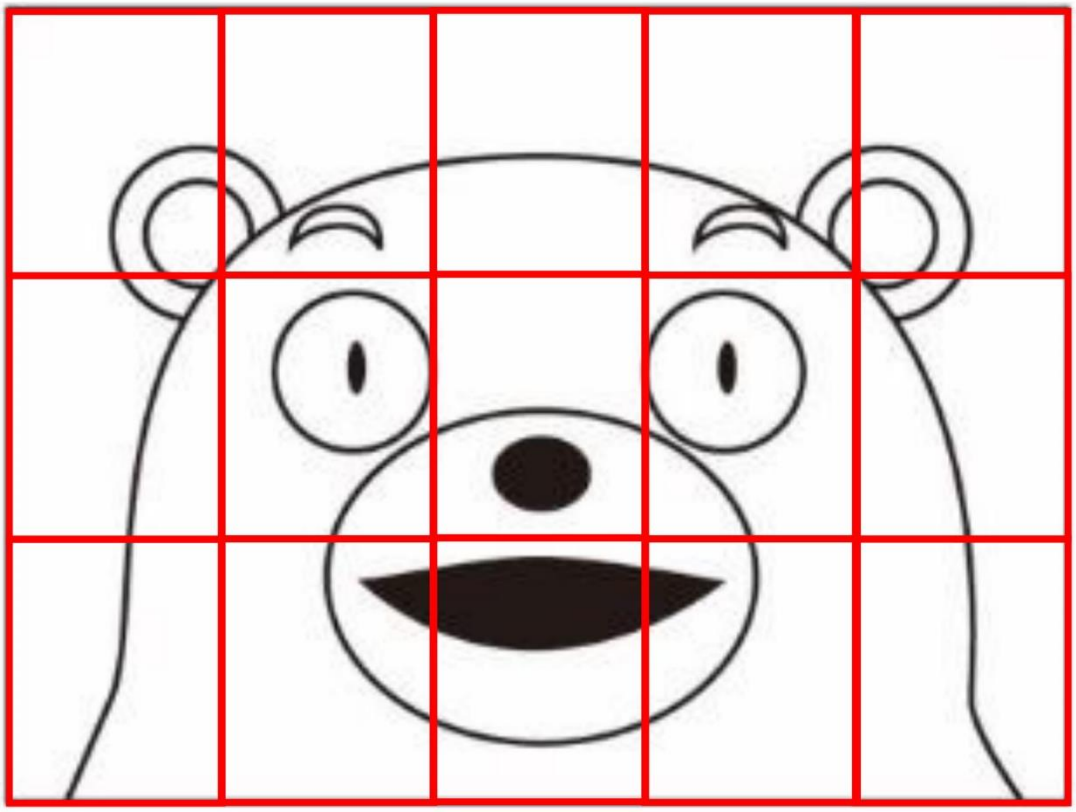




指導者用

阿蘇検定オリエンテーリング解答

【お絵かき問題】問題の札に描いてある絵を、描きつなげてひとつの絵にしよう！



【何の絵になったかな？】

（答え）

くまモン

【阿蘇検定問題】札に書いてある問題に答えよう！※答えの番号を書きましょう。

問①	④カルデラ	問⑥	①そば	問⑪	④トマト
問②	③１５９２メートル	問⑦	④４回	問⑫	②イチゴ
問③	⑤阿蘇の涅槃像	問⑧	⑤米を掌ですくった跡	問⑬	⑤阿蘇ハヤシライス
問④	④ヒゴタイ	問⑨	②高砂の松	問⑭	①大鍋
問⑤	④水基めぐり	問⑩	⑤北海道	問⑮	②だご汁

阿蘇検定オリエンテーリング　解答&解説

問①　阿蘇火山を象徴(しょうちょう)する言葉で、噴火(ふんか)により地下が空洞(くうどう)になって地盤(じばん)が陥(かん)没(ぼつ)することなどによってできる火山性の大きなくぼ地を意味するものはどれでしょう。

①カルスト　②マグマ　③クレーター　④カルデラ　⑤シェルター

阿蘇カルデラは、東西18ｋｍ、南北が25ｋｍと世界でも有数の規模を誇っています。このカルデラは、九州中･北部を覆い尽くす４回にわたる巨大火砕流噴火の結果生じたものです。

問②　阿蘇五(ご)岳(がく)の中で最高峰(さいこうほう)、高岳(たかだけ)の標高(ひょうこう)はどれでしょう。

①３７７６　メートル　②２５８４　メートル　③１５９２　メートル
④１４９２　メートル　⑤１１９２　メートル

１５９２ひごくに（肥後国）と覚えましょう。「阿蘇山」は単体の山ではなく根子岳(ねこだけ)（1433メートル）・高岳（1592 メートル）・中岳（1506 メートル）・烏帽子岳(えぼしだけ)（1337 メートル）・杵島岳(きしまだけ)（1326メートル）などを総称した呼称です。五つの岳を総称して「阿蘇五岳」と呼ばれます。

問③　阿蘇五(ご)岳(がく)を北外輪山(きたがいりんざん)や阿蘇谷方面から望むと、根子(ねこ)岳(だけ)を顔に、中岳(なかだけ)がお腹にあたり、まるでお釈迦(しゃか)さまが横になったお姿に似ています。このことから、阿蘇五(ご)岳(がく)は俗(ぞく)に何と呼んで崇(あが)められているでしょう。

①阿蘇の釈迦(しゃか)像(ぞう)　②阿蘇の如来(にょらい)像(ぞう)　③阿蘇の仏陀(ぶっだ)像(ぞう)
④阿蘇の菩薩(ぼさつ)像(ぞう)　⑤阿蘇の涅槃(ねはん)像(ぞう)

阿蘇の「涅槃像」は、山岳修験者による信仰や民衆による「お池さん参り」としての火口参詣など、阿蘇山は古来より畏敬の対象として人々に崇められてきました。
「涅槃像」として親しまれる阿蘇五岳は、夏は水田に映る逆さ阿蘇、冬は雲海など四季折々の表情が楽しめる景勝地です。

問④　阿蘇には約１６００種を超える植物が生育しているといわれています。
次の写真は８月から９月にかけて阿蘇の草原に咲く花で産山村の村花です。この花にちなんで、タイの中学生と産山中学校との交流が続けられていますが、この花の名前はどれでしょう。

①ハナシノブ　②クララ　③サクラソウ　④ヒゴタイ　⑤ヤツシロソウ

８月、おぼんのころに、おはかにかざる花を「ぼん花（ぼんばな）」と言います。ヒゴタイは阿蘇地方でぼん花によく使われてきた植物です。

問⑤　阿蘇神社につながる門前町(もんぜんまち)商店街（阿蘇市）では、水をテーマにした散策(さんさく)が人気を集めています。この散策(さんさく)の名前はどれでしょう。

①水舟めぐり　②水飲みめぐり　③竹水めぐり　④水基（みずき）めぐり　⑤湧水めぐり

水基とは水飲み場のことで、一の宮門前商店街にはこの「水基」と呼ばれる湧き水があり、水は美味芳醇な神様の泉として珍重され不老長寿の水として崇められています。一の宮の人々は常日頃からこの神の水の恩恵感謝の心を忘れずに水とともに暮らしてきましたが、この美しい水をもっと多くの人に飲んでもらいたいという思いから十数年前から木や石造りの水基を十四箇所設置し、道往く人々にふるまっています。

問⑥　阿蘇では、高冷地のため不足がちだった主食米を補うために、「あるもの」がつくられてきました。現在では、阿蘇市の波野地区や南阿蘇村の久木野地区などが主な産地として有名ですが、この「あるもの」はどれでしょう。

①そば　②ひえ　③あわ　④くり　⑤あずき

南阿蘇村・久木野には、古くより美味しい蕎麦作りに適した土地として知られている当地産の「そば」を、自社工場の石臼で丹念に挽いた「そば粉」を使って、本物の「そば打ち体験」を楽しめる施設もあります。

問⑦　火の山・阿蘇は熊本県のシンボルであり、世界的にも最大級のカルデラを持つ火山として有名です。阿蘇では、これまでに何回の大規模な火砕流(かさいりゅう)噴火(ふんか)が発生したといわれているでしょう。

①１回　②２回　③３回　④４回　⑤５回

阿蘇カルデラは、約 27 万年前から約９万年前の間に起こった４回の巨大噴火によってつくられ、東西 18km、南北 25km と世界でも有数の規模を誇ります。大観峰はそのカルデラを一番感じることができる代表的なジオサイトです。左右に連なる標高差 300～500mの雄大なカルデラ壁や阿蘇五岳をはじめとした中央火口丘群、眼下には阿蘇谷の田園風景がを一望でき、また鹿児島（鬼界カルデラ）から飛んできた火山灰も見ることができ、火山噴火の凄まじさや阿蘇の人々の生活を体感できる場所です。

問⑧　米塚は杵島(きしま)岳の西側にあり、お椀(わん)を伏せたような典型的な火山の地形を見せているかわいい山で、山頂のエクボのようなくぼみは火口跡です。そのくぼみは、阿蘇神話では、阿蘇神社の主祭神・健磐龍命(たけいわたつのみこと)が「あることをした跡」と伝えられていますが、それはどれでしょう。

①産湯をすくった跡　②杭を打った跡　③矢を射る時に腰掛けた跡
④力任せに蹴った跡　⑤米を掌(てのひら)ですくった跡

米塚は、標高 954 メートルで高さ 80 メートル。裾野の直径は約 380 メートルで、頂上に直径約 80 メートルの火口跡が残っています。噴石が積み重なってできた火砕丘で、約３千年前に形成されたとされます。地質学者の早川由紀夫氏によると、噴火は 1700 年前までさかのぼるといいます。

問⑨　阿蘇神社にある、まわりを２回まわると良縁(りょうえん)に恵まれると伝えられている有名な松はどれでしょう。

①羽衣(はごろも)の松　②高砂(たかさご)の松　③尾上(おのうえ)の松
④根曳(ねびき)の松　⑤お宮(みや)の松

１０６０年前、阿蘇神社の２６代宮司・阿蘇友成が宮中参内のため京に上がった際、播州尾上で縁起のよい松に詣で、その実を持ち帰り植えたものを植え替えをしながら育ててきた松なのだそうです。

問⑩　阿蘇がカルデラを形成したとき、噴火(ふんか)にともなう火山灰は偏西風(へんせいふう)に乗って遠くまで飛ばされ、その堆積物(たいせきぶつ)は現在でも観察(かんさつ)することができます。火山灰層として観察(かんさつ)される場所で、日本国内で阿蘇から最も遠いところはどれでしょう。

①大阪府　②新潟県　③宮城県　④青森県　⑤北海道

約９万年前の最大の噴火は北部九州を覆い尽くし、海を隔てた山口県まで流れました。火山灰は北海道網走で 15 ㎝の層となっています。

問⑪　阿蘇地域で年間約４０００トンが生産され、特に夏期の生産量が熊本県でトップの野菜です。日中の温度が高く、夜冷える阿蘇の気候によってより糖度が増し、おいしさが増すこの野菜はどれでしょう。

①トウモロコシ　②ナス　③キャベツ　④トマト　⑤スイカ

「阿蘇高原とまと」は、３月に苗を育てはじめ、６月中旬から 11 月末まで収穫が続きます。

問⑫　阿蘇にはフルーツ狩り体験のできる観光農園が数多くありますが、１２月～５月頃まで半年近く収穫することができ、「ひのしずく」、「さちのか」などの品種があるフルーツはどれでしょう。

①メロン　②イチゴ　③リンゴ　④スイカ　⑤ブドウ

阿蘇中央高校農業食品科の生徒達が開発した白いイチゴ「あその小雪」は、イチゴでは全国の高校で初めての品種登録です。
高校再編統合前の旧阿蘇清峰高校時代から取り組みを開始し、約１２年がかりで品種開発に取り組んだイチゴが平成２４年２月、農林水産省に品種登録出願を終了しました。

問⑬　平成２１年（２００９）７月から阿蘇のレストランやホテルなどで売り出すことになった、阿蘇産のあか牛、トマト、米を使ったご当地グルメはどれでしょう。

①阿蘇カレーライス　②阿蘇レッドライス　③阿蘇トマト丼　④阿蘇赤牛丼　⑤阿蘇ハヤシライス

阿蘇中岳をイメージさせる「赤」の２大食材（赤牛、トマト）に、清流が育んだ美味しいお米。これら阿蘇を代表する食材を使って生み出されたのが「阿蘇ハヤシライス」です。

問⑭　阿蘇火山の噴火によってできた大きな陥没地形を「カルデラ」と呼んでおり、これはポルトガル語「caldera」が語源ですが、この意味はどれでしょう。

①大鍋　②大皿　③大瓶(おおびん)　④大箱　⑤大壺(おおつぼ)

カルデラとは「大鍋」を意味するポルトガル語に由来し、通常の単純な噴火による火道に直接連なっている直径１km 未満の火口と区別して、そう呼ばれています。

問⑮　里芋、白菜、大根などの四季の野菜や揚げ豆腐などを入れて煮込み、小麦粉を平たくのばし、たたんで包丁で切ったものを入れてさらに煮込んで作る阿蘇を代表する郷土料理で、つん切りやとうきびなどの種類があります。さてこの料理の名前はどれでしょう。

①すいとん　②だご汁　③そば　④うどん　⑤もち

阿蘇の郷土料理の一つ「だご汁」。熊本ではだんごのことを「だご」といいます。